

# マルヒロから版

2020年  
新春！1月号



謹んで新年のお慶びを申し上げます



2020年が始まりました。  
今年は何といっても、東京オリンピックが開催される年ですね。  
五輪に経済に、日本が盛り上がってほしいものです。  
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

～2020年、ねずみ年です～

十二支おける2020年（令和2年）は庚子（かのえね）年です。



～「庚」と「子」の意味、特徴～

庚は季節でいえば秋の初めであり、生命サイクルでは“結実や形成”という変化転換を表します。また、子は種子が土中で発芽したまさにその瞬間を意味し、繁殖や発展を意味するそうです。

## ●子年にあった出来事

- ・1960年（昭和35年）…日本でカラーテレビの放送が始まる
- ・1972年（昭和47年）…札幌オリンピック開催
- ・1996年（平成8年）…広島原爆ドームが世界遺産に認定される
- ・2008年（平成20年）…日本で「iPhone」の発売を開始

## ●子年の特徴は？

陰陽五行説で見た時、組み合わせにより「庚：金の陽」「子：水の陽」で“相生（そうせい）”という関係だそうです。

相生とは、相手を強める影響をもたらす、“金生水”ともいわれ、金から水が生じるイメージだとか。

勉強や仕事、恋愛、健康などそれぞれが相互に影響をもたらす合い、何かに行き詰まったときは全く別のものから活路を見だし、十干十二支を植物で見た時、庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態で「全く新しいことにチャレンジするのに適した年」とも言えるそうです。

## ●十二支の最初！

もともと十二支は動物とは無関係のもので、東西南北の方角に「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」と漢字をあてていましたが、十二支を覚えやすくするために、その字に動物をあてはめたものです。今年はその1番目にあたります。

- ・方位は北
- ・刻は23時から1時頃
- ・月は旧暦の11月（新暦で概ね新暦の12月）です

# ● 子（ネズミ）にまつわることわざ、慣用句



## ● 窮鼠猫を噛む（きゅうそねこをかむ）

追いつめられたネズミが猫にかみつくように、弱い者も追いつめられると強い者に反撃することがある。

## ● 袋の鼠（ふくろのねずみ）

追い詰められて逃げるが出来ない状態。

## ● 時に遇えば鼠も虎となる（ときにあえばねずみもとらとなる）

時流に乗れば、つまらない者でも出世して権力をふるうようになるというたとえ。

## ● 猫の前の鼠

恐ろしさのあまり、身がすくんで動けない様



## ● 鼠が塩を引く

取るに足らない些細なことであっても、放っておくといずれ重大な事態を招くということ。

## ● 鼠壁を忘る壁鼠を忘れず（ねずみかべをわする かべねずみをわすれず）

ネズミは自分がかじた壁のことなど忘れていたが、壁はネズミにかじられたことを忘れない。苦しめられた恨みは長く消えないことのたとえ。

## ● 鼠と猫が仲良くなると八百屋は破産 ～アラブのことわざ～

ネズミは八百屋にとって天敵だが、その天敵の猫がいる限り堂々と悪さは出来ない。しかし、ネズミと猫が仲良くなってしまうと、そのバランスが成り立たなくなり八百屋が破産してしまうというたとえ。

## <最後に…子年生まれの特徴>

### ・ 几帳面な人が多い

ものごとがきちんと整理された状況を好み、混乱や無秩序を嫌うという傾向。そのため、身の回りはいつも整頓されてきれいで、部屋や机も片付いているタイプが多いのだとか。スケジュールはしっかり頭に入り、仕事や勉強も同様、優先順位を付けて、やるべきことをてきぱき片付けていくタイプ。

### ・ 本音を言えない？

几帳面という性格の裏返しで、子年生まれの人には他人に本音を言いにくいという特徴があるとか・・・

周囲との関係を平和に保つことを優先し、自分の感情を押し込めてしまうことが多く、「迷惑になるのでは」と、つい他人に遠慮してしまい、自分の素直な気持ちを話すことができないことが多いそうです。

嫌なことがあってもなるべく我慢して耐えるのが、子年生まれの人の特徴！？

「お困り事はありますか？」

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！

～土地・建物のよろず屋～

今年もご遠慮なく  
お声掛けください！



マルヒロ不動産

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628

